

# 『社会』と『ケア』を哲学的に考える

いま、社会保障は可能なのか・・・

## 講師

佐藤 香織 氏

渡名喜 庸哲 氏

第2回を迎える  
「現代思想と福祉」  
2人の哲学者を  
講師に招き、議論を  
展開します。



日時 11月21日(土)

午後2時～4時 (開場:午後1時30分)  
研修会の後、懇親会も予定しています

会場 東大島文化センター2階 第1和室  
江東区大島8-3 3-9 (裏面地図参照)

※ 関心がある方であれば、誰でも参加できます

主催 江東社会福祉士会・東京社会福祉士会 権利擁護委員会  
[申込・問合せ] 間庭 (まにわ)

TEL : 090-5553-7024 E-MAIL : mutimuti-tanuki@aa.isas.ne.jp

## 『社会』と『ケア』を哲学的に考える

第2回「現代思想と福祉」は、江東社会福祉士会とのコラボレーションイベントとして開催します。

フランスの哲学者E. レヴィナスの研究者である渡名喜 庸哲先生を前年度に引き続きお迎えして、今回も福祉課題を哲学的に検討します。さらに首都大学東京、神奈川大学などで非常勤講師を務められ、現代フランス思想を研究している佐藤 香織先生も加わり、議論を深めていきます。

さまざまな思想を参照しながら、「社会的なもの」と「福祉」の関係を追及し、現代哲学で話題となっている「ケアの倫理」についても議論します。また具体的な事例の哲学的な考察も試みます。

権利擁護のバックボーンとなる根本的な次元に立ち戻り、現状のソーシャルワークの根底にある哲学的課題を明らかにしていきます。

### 渡名喜 庸哲 氏

#### プロフィール

1980年、福島県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期退学。パリ第7大学社会科学部博士課程修了。博士（政治哲学）。日本学術振興会特別研究員、東洋大学国際哲学研究センター研究助手を経て、現在慶應義塾大学商学部専任講師。

著書に「顔とその彼方—レヴィナス『全体性と無限』のプリズム」（共著、知泉書館、2014年）ほか。訳書にルイ＝サラ・モラン『ソドム：法哲学への銘』（共訳、月曜社、2010年）、ジャン＝ピエール・ルゴフ『ポスト全体主義時代の民主主義』（共訳、青灯社、2011年）、ピエール・ブーレッツ『20世紀ユダヤ思想家：来るべきものの証人たち』第1巻～第2巻（共訳、みすず書房、2011年）、ジャン＝リュック・ナンシー『フクシマの後で 破局・技術・民主主義』（以文社、2012年）、エマニュエル・レヴィナス『レヴィナス著作集 第1巻』（共訳、法政大学出版、2014年）ほか。

### 佐藤 香織 氏

#### プロフィール

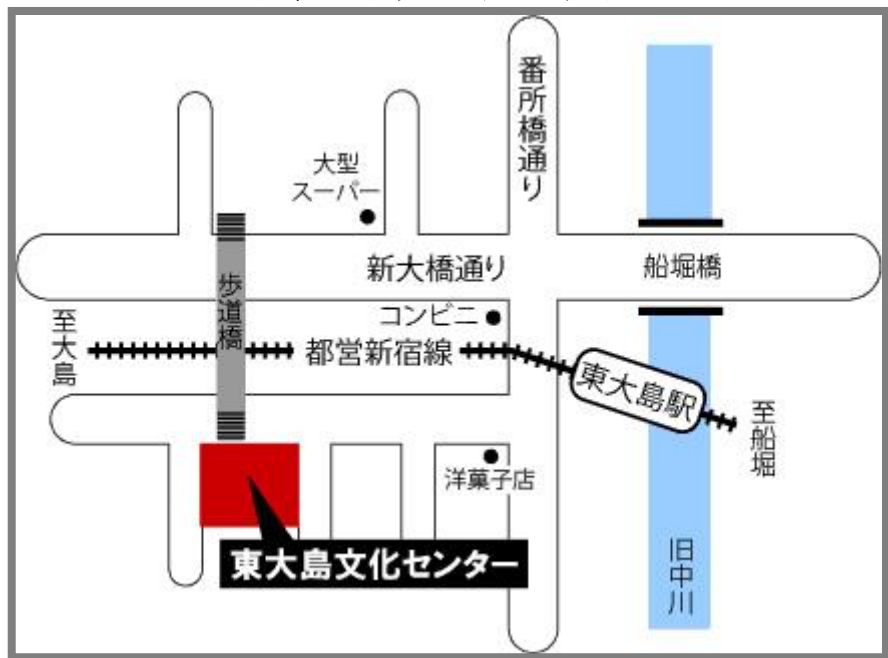
1978年、福島県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程満期退学。パリ第10大学（現パリ西大学）文学部哲学科博士課程修了。博士（哲学）。日本学術振興会特別研究員を経て、現在、首都大学東京都市教養学部、立教大学文学部、神奈川大学外国語学部、亜細亜大学法学部等で非常勤講師として勤務。

著書に『戦うことに意味はあるのか—倫理的横断への試み』（共著、弘前大学出版会、2016年出版予定）、『哲学の立ち位置—哲学への誘い、新しい形を求めて、第1巻』（共著、東信堂、2010年）『悪と暴力の倫理学』（共著、ナカニシヤ出版、2006年）等。論文に「繁殖性」と「無限の時間」—『全体性と無限』における平和論（首都大学東京人文学報、2015年）等。訳に、カトリーヌ・シャリエ「レヴィナスとタルムード」（『現代思想』2012年3月号）ジゼル・ベルクマン「最後のユダヤ人」（首都大学東京人文学報、2015年）等。

申込方法：表面の[申込・問合せ]に連絡

参加費：無料

## 会場案内



### 「東大島文化センター」

東京都江東区大島8-33-9

TEL 03-3681-6331

◎電車利用の場合

都営地下鉄新宿線東大島駅  
大島口出口より徒歩5分

◎バス利用の場合

JR 亀戸駅より

1. 都バス亀24系統  
「亀戸駅」⇔「葛西橋」

2. 都バス草24系統  
「東大島駅」⇔「浅草寿町」

※1.2.とも「大島七丁目」下車徒歩3分

営団地下鉄東西線「東陽町」より

3. 都バス門21系統

「東大島駅」⇔「門前仲町」

「東大島駅」下車徒歩5分